

拍子水という淡水の泉は姫島の七不思議の一つである。この天然の泉は朝鮮の姫自身によって見つけられたと言われている。うがいをするため、彼女は祈り手をたたいたが、すると水が地面から泡立つように出始めた。拍子水は何世紀にも渡り、入浴のために使われている。その水は天然で炭酸を含み鉄分が豊富である、そして岩の割れ目からおよそ 25 度で湧き上がっている。隣にある浴場では拍子水で満たされた 2 つの浴室があり、そのうちの一つは約 40 度に加熱されている。